

【中学校 国語】

全国学力・学習状況調査 今治市の各教科調査結果の特徴

1 平均正答率等について

本市の中学校国語の平均正答率は 53%で、全国の平均正答率と比べ▼1.3%、県の平均正答率と比べ▼1.0%それぞれ下回りました。「話すこと・聞くこと」の平均正答率が 51.8%（全国 53.2%、県 52.4%）、「読むこと」の平均正答率が 60.9%（全国 62.3%、県 61.7%）とそれぞれ、全国平均より▼1.4%ほど低くなっています。「書くこと」の平均正答率は 51.0%（全国 52.8%、県 52.1%）と全国平均より▼1.8%下回っています。

2 特徴が見られた問題

2一 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかをみる問題

村田さんは、【村田さんのスピーチ】——線部㉑「スライドに示したように、「次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。」のように、スライドを使って話しています。このときの村田さんの話し方を説明したものとして最も適切なものを、次の 1 から 4 までの中から 1 つ選びなさい。 【正答】 2

- 1 聞き手の印象に残るように、スライドで意見だけを要約して示しながら、意見とそれを支える根拠を話している。
- 2 聞き手によって経験が違うことを考慮して、スライドで補足の情報を示しながら、話の要点を絞って話している。
- 3 聞き手が興味をもつように、スライドで異なる視点からの情報を示しながら、自分の主張を繰り返し話している。
- 4 聞き手からの質問を想定して、スライドで質問に対する回答を示しながら、自分の立場と考えて話している。

本市の平均正答率は、38.6%で、全国の平均正答率（38.1%）と比べ△0.5%、県の平均正答率（38%）と比べ△0.6%上回りました。資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができると考えられます。

1四 自分の考えが伝わる文書になるように、根拠を明確にして書くことをみる問題

今年度の美術展では、昨年の美術展に来場した小学生の感想をもとに内容を工夫しています。中井さんは、そのことを【チラシ】（更新版㉒）の の部分に書き加えることにしました。あなたなら、どのように書きますか。次の条件 1 と条件 2 にしたがって書きなさい。

条件 1 今年度の美術展の【工夫】の A、B から 1 つ選び（どちらを選んでもかまいません。）それと結びつく小学生の【感想の一部】を A から U までの中から 1 つ選びそれぞれ塗りつぶすこと。

条件 2 条件 1 で選んだ、今年度の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指示する語句を書くこと。

【工夫】

- A 作品に込めた思いや作品をつくる過程について、中学生が、来場者の求めに応じて説明する。
- B 昨年はおみやげにしていたペン立てを、今年は体験コーナーを設けて、小学生につくってもらう。中学生は、美術の時間に学んだことを生かし、手助けや助言をする。

【感想の一部】

- A どうやってあんなすばらしい作品をつくったのかわかりませんでした。美術でどんなことを学べるのが楽しみです。
- イ いろいろな作品が展示されていて楽しかったです。思いのこもった作品が多いように感じました。
- ウ おみやげにペン立てをもらえてよかったです。手づくりだと聞いてびっくりしました。私もつくってみたいです。

【チラシ】（更新版㉒）

第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
 私たちが美術の時間に作った作品を展示します。どれも思い入れのある作品です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。

日 時 令和7年11月15日（土） 10時～16時
 場 所 第一中学校 体育館
 会場図

体験できる時間（各回30分）
 ●10時～ ●11時～ ●12時～ ●13時～
 中学生と一緒に、好きな色のデカルを塗って自分だけのペン立てをつくることができます。

第一小学校も来場してみよう！

この問題は、今年度開催する美術展が、昨年度来場した小学生の感想をもとに内容を工夫したものであるということを、小学生に伝える文章を作成することを課題としています。

本市の平均正答率は 19.1%で、全国の平均回答率（23.2%）、県の平均回答率（22.1%）と比べて、全国の平均回答率より▼3.2%、県の平均回答率を▼2%を下回りました。工夫した点と小学生の感想との関係がわかるように内容を組み立て、更に、小学生にわかるよう相手を意識して文章を作成することに課題があると考えられます。

3 これからの学習に当たって

自分の考えを分かりやすく伝える表現の工夫が求められる選択式の問題で良い成果が出ているのは、「総合的な学習の時間」において、仲間と協力して情報を整理し、発表する活動を行ってきた成果だと考えられます。

「書くこと」に課題があるため、これまで以上に、学習活動の様々な場面で自分の考えを文章にまとめる活動を増やす必要があります。また、「総合的な学習の時間」での成果発表に新聞づくりを多く取り入れるなど、強みを更に伸ばしつつ、協力して学ぶ活動を充実させることが大切です。